

こども園へ間伐材ベンチ

豊田西ロータリー&あすて

豊田西ロータリークラブ
と公益財団法人あすて
が先月30日、豊田市産の
間伐材で作ったベンチを
市立大林こども園と藤敷
こども園に寄贈し、大林
こども園で寄贈式が行わ
れた。

あすては矢作川上流域

の人工林は間伐が必要で
あるとの観点から、市
内の各種団体と協力し
て「間伐材有効活用プロ
ジェクト」に取り組んで
いる。間伐から運搬、製
品づくり、寄贈までボラ
ンティアや民間協力で行
われ、そのために必要な

資金は全て
企業や個人
からの寄附
金で賄って

いるプロジェクトだ。

今回寄贈されたベンチ
も、豊田西ロータリーク
ラブからの寄附金を原資
として間伐材有効活用プ
ロジェクトで作製された
もの。材料は足助地区の
御内町で森林ボランティア
アの手で伐採されたス
ギ。あすてで活動するボ



ランティアグループ「森
のプレゼント」が、あす
て内で製材から組み立て
まで行った。

豊田西ロータリークラ
ブの寄附金による間伐材
有効活用プロジェクトの
ベンチ寄付は、平成30年
から毎年2園に2脚ずつ
(4脚で約10万円)行わ
れており、今回を含めて
計25園になった。

席。鈴木勇夫
会長は園児た
ち49名の笑顔
をみて思わず
顔をほころば
せながら、「ベ
ンチを喜んで
もらえると思
ってプレゼント
とあいさつ。
あすての豊田
杉子理事長は
森を間伐する
大切さを園児に説明した
うえで、「その間伐材で
作ったベンチです。みんな
が喜んで使ってくれる
のはとても良いことです
よ」と伝えていた。



「新見克也」
たちがみんな嬉しそう
に座って大人たちも笑顔
に包まれていた。
大林こども園ではこの
ベンチを絵本コーナーな
どで大切に使うそうだ。

寄贈式典のあとは園児